

伊勢崎賢治先生への質問と返答

- (1) リベラル的な方向の集会、シンポジウム、講座に参加しています。しかし、一国平和主義的な護憲には疑問を覚えます。今日のお話をお聴きしてますます分からなくなりました。
自衛隊の方が現場で困らないために、我々市民は何をしたらよいと思いますか。

(返答) まず、海外事情を知ることです。日本は24時間の国際報道のない珍しい先進国ですが、時間帯によってCNNの日本語版の放送があります。まず、それで。それと、個人で頑張っているジャーナリストを金銭的に支援してあげてください。

- (2) 現在の為政者、政治家は勉強をして大学も出、相応の知識も人間としての常識ももっていると思います。それなのに、ご指摘のような非常識なとんちんかんなことをどうしてやってしまうのでしょうか。国際対応でなぜ他国に笑われるような、そもそも人間としてレベルの低いことをやってしまうのでしょうか。

(返答) 多分、そういう指導者が、臆面もなくトンチンカンになれるのは、それを批判できないとタカをくくられる国民側に責任があると思います。

- (3) 「戦争をしない9条」をどのように次世代に残すのか？現行の9条と比べて何が大事なのか、もう少し詳しく説明をお願いします。

(返答) このウェブをご覧ください。

<https://www.cataloghouse.co.jp/yomimono/160112/>

(上記ウェブからの抜粋、詳細はウェブをご覧ください)

※9条を以下のように改定し「永久条項」とする。

1. 日本国民は、国際連合憲章を基調とする集団安全保障（グローバル・コモンズ）を誠実に希求する。
2. 前項の行動において想定される国際紛争を解決にあたっては、その手段として、一切の武力による威嚇又は武力の行使を永久に放棄する。
3. 自衛の権利は、国際連合憲章（51条）の規定に限定し、個別的自衛権のみを行使し、集団的自衛権は行使しない。
4. 前項の個別的自衛権を行使するため、陸海空の自衛戦力を保持し、民主主義体制下で行動する軍事組織にあるべき厳格な特別法によってこれを統制する。個別的自衛権の行使は、日本の施政下の領域に限定する。

- (4) 集団自衛権の行使で、自衛隊員が戦場で死ぬと一般市民の頭に血がのぼり、日本に敵対ナショナリズムが生まれるのがとても怖いのです。安倍首相は、一般人の敵対ナショナリズムに火をつけるために自衛隊員が死ぬ可能性を見越して外国に自衛隊を出そうとしているのでは…と想像できますが、いかがでしょうか。

(返答) そういう歴代の政治勢力があり、今でもあるのは、事実だと思います。

- (5) 伊勢崎先生は、日米安保条約をどうしたいと思われませんか？ 破棄したいと私は思いますが、いかがでしょうか。

(返答) 上のウェブをご覧ください。

<https://www.cataloghouse.co.jp/yomimono/160112/>

(上記ウェブからの抜粋、詳細はウェブをご覧ください)

日本の施政下のすべての在日米軍拠点（基地および空域）における日本の主権を回復する。

具体的には、

1. 地位協定の時限立法化（更新可）、もしくは、米軍の（段階的・完全）撤退時の状況をビジョン化（日本がすべての隣国との領土、領海問題の完全解決等）
2. 在日米軍基地に米軍が持ち込むすべての兵器、軍事物資に対する日本政府の許可と随時の検閲権。
3. 在日米軍基地が日本の施政下以外の他国、領域への武力行使に使われることの禁止。